

一般質問 梅津政志議員2項目を問う



梅津政志議員

問 町内の中心で身近な場所への設置を。

答 地区別の子供の数を踏まえ既存の公園の遊具の更新を図る。

問 町民の憩いの場としての公園の設置を望む。

答 公園は親子が触れ合い、また運動の場として有効である。ダム公園には令和元年と2年で遊具の新設をする。



▲七ヶ宿町なないろ広場遊具

問 なないろ広場内に設置したミニ公園も子供たちに好評だが、こういった施設に予算をかけるべきではないか。

答 公的な運営だけではなく、民間の自由な発想の中で運営することも大事であり運営者と相談をする。

問 公園整備と遊具の設置を

答 幅広い年代が利用できる環境を整備する

一般質問 五十嵐敏夫議員1項目を問う



五十嵐敏夫議員

町内には、所有者の適切な管理が行われていないと思われる空き家が多く見られます。特に廃屋化している空き家は火災、防災のみならず、観光、生活環境上にも深刻な影響を及ぼしている状況である。



問 町内の空き家の状況並びに移住可否の優先ランク付けなどを行っているのか。

答 基本的にすぐ利用できる物件、修繕が必要な物件に区分される。紹介する側でランク付けするよりも、利用される方に選定してもらう方が利用につながるかと判断し、町ではランク付けはしていない。ただし、問い合わせ条件等に沿った物件の案内は行っている。

問 町内空き家状況と廃屋対策は

答 空き家バンクと解体支援制度の活用

問 廃屋化している家屋や小屋の所有者への解体又は改修指導はしているのか。

答 所有者が確認できる廃屋等については、写真を送付するとともに、町の支援制度についても説明している。空家周辺の景観や生活環境に悪影響が懸念されるため、引き続き町の支援制度等を説明していく。



▲廃屋化した空き家

問 スキー場の運営と今後の支援は

答 適正な維持管理と効果の高い運営を目指す

問 スキー場施設には多額の投資をしてきたが、今後のスキー場の存続についての町長の考えを伺う。

答 今後も適正な維持管理を行い効果の高いスキー場の運営を継続する。

問 記録的な暖冬により厳しい経営に追い込まれたスキー場への支援と指導の考えは。

答 雪不足に起因する売り上げの減少に対して県の融資制度もある。今後も雪不足が懸念されることから、収益性の向上を図る運営改善を指定管理者と研究を重ねる。

問 七ヶ宿町空き家対策協議会開催の回数は。

答 該当する案件が無いため開いていない。

問 地域づくり委員会で空き家対策を行うとあったが効果は。

答 区長会で説明の後、申し込みは無かったが継続していく。

問 空き家バンクの本年度実績は。

答 空き家バンクへの登録は9件、うち4件が成立、相談中が1件です。今後も引き続き定住促進のため活動していく。



問 県に規模の大きな支援策の要望と、町独自の支援策はなかったのか。

答 1月末に1市3町で県に要請し、早急に支援体制を整えてもらった。町は保証協会の保証料と利子の補給を補填した。

問 管理委託料200万円減額の根拠は。

答 グラススキー費用の不足を調査し減額した。

問 スキー場休業時のさらなる支援策は。

答 町として休業対策事業を起こし、結果的に3名が応じた。